



Rotary 

2022～2023年度
国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ
第2620地区 ガバナー
浅原 諒 蔵

Rotary International D2620 (静岡第5グループ)

事務所 浜松市中区元城町109-18 〒430-0946
例会場 ホテルコンコルド浜松 例会日 毎週金曜日12:30～13:30
Tel:053-457-1116 Fax:053-455-4614
E-mail : hamamatsu-nishi@ri2620.gr.jp
会長 山地峰春 幹事 外山武志
クラブ委員長 瀧本健司 土屋 健 瀧本典彦
齋藤剛史 岩淵綾太

第2148回 Vol.46-No.38 2023/6/9(金) 12:30～13:30 (曇)

司会SAA 宮地 亮君
点鐘 会長 山地峰春君
ロータリーソング 「手に手つないで」

ソングリーダー 中村美香保君

ゲスト

小林 昇正様 (株式会社 ハウジング小林)
八木 榮次様 (株式会社 タクシン)
鬼石 貞治様 (オイスカ浜松国際高等学校 校長)
松岡真理恵様 (国際交流協会)



出席報告

内藤久子君

会員数	総出席	当日出席率
48名	39名	90.91%

(免除者 16名) (事前MU 1名)

会長挨拶 山地峰春会長

皆様こんにちは。本日は46年前の6月3日、当クラブが誕生した創立記念同伴例会となっております。ようこそお越し下さいました。私の妻も同席しております。我が家のように謙虚にお話をさせていただきます。さて今期も残り少なくなってまいりましたが、4月に妻と二人常陸の国へ行ってまいりましたが、牛久大仏と東国三社巡りの旅です。桜の時期も最高で楽しく貴重な歴史の旅でした。奥様ありがとうございます。東国の神宮のお話は、卓話の機会があれば日本神話として取り上げたいと思います。本日は昨年7.1の例会から、私の環境プランナーとしての役割もあり、環境問題についてお話をさせていただきましたが、あれから約1年が過ぎ、この環境問題はどのような変化があったのでしょうか。良い方向に？それともより悪い方向に？昨年の2月にロシアがウクライナに侵攻し長く続く戦争は世界を大きく揺るがし、軍事防衛費の増加や、エネルギー・食糧危機などを招きました。これはエネルギー高騰対策によって気候変動対策と逆方向の動きに拍車をかけてしまいました。一方で、欧州を中心にコスト、安全保障の両面から再生エネルギーへの移行を加速させている国もあります。現実では2022年には、パキスタンの大洪水やアフリカ諸国での干ばつ、グリーンランドの氷の加速的な融解等、世界中で異常な気候への影響が激甚化したしました。11月のCOP27では、気温上昇を1.5度抑制する目標は再確認したものの、行動の強化には合意できませんでした。一方で、途上国がうける気候変動での「損失と被害」支援のため、基金が創設されます。WMOは5/17、今後5年間のうち少なくとも1年間で世界の気温が産業革命前の水準より1.5度以上高く、過去最高になる可能性が66%に上ると警告しています。又一年以上続いていたラニーニャ現象は終息し、現在は中和状態にあります。今年の夏に世界にとって



の気候温暖化効果があるエルニーニョ現象が発生し、2024年は記録上最も暑い年になる可能性が高いです。世界でのCO2搬出量は2022年に過去最高水準を記録しました。再生エネルギーの拡大が進む中、我が国もそうですが、アジア新興国での石炭火力による搬出量が増加しました。そして増加量の約20%が異常気象による冷暖房需要での電力増加により起こっているのは皮肉なことです。レポートによれば2021年のCO2増加搬出量6%に比較して2022年は約1%と小さかったものの依然として化石燃料からの搬出量が増加しております。戦争による燃料高騰は航空機料金を異常に上昇させ陸続きのヨーロッパでは「フリグスカム」日本語では「飛び恥」の合言葉で、航空機に乗りCO2搬出を恥として、鉄道を中心とした公共機関利用が若者に浸透しています。今後もこの傾向は加速していくことが予想されます。さて、G7での日本のリーダーシップが期待されました。平均気温上昇を1.5度以下に保つことへの取り組みです。ICPPの報告書によれば、世界の気温は既に1.1度上昇しており、あと10年程すれば1.5度に達する可能性が高いのが、今の地球環境です。私たちロータリアンの目標でもある、持続可能な未来への取り組みは、急速にその窓を閉じつつあります。再生可能エネルギー・電気自動車・ヒートポンプ等のクリーンエネルギーへの移行を加速することは必然です。家庭から出されているCO2のうち電気消費に起因する搬出量が45.1%を占めています。私たちは、公共機関の利用や電気の使い方の見直しを迫られています。できる範囲で無駄な電力をカットすることに取り組みみましょう。前にもお話いたしましたように気候変動の影響で、東アジアでの降水量は年々増加しています。この静岡県では昨年の台風15号に続き、今回の台風でも大きな豪雨被害が出ました。これは私たちのグループが研究資料から推測していることですが、きっと平均気温は2.0度近くまで上昇すると思います。干ばつ、豪雨洪水、猛暑、農作物・酪農への被害や飲料の高騰など、その数年前から世界中の自然災害は激しさを増していくでしょう。そしてその経験はやっと人類を完全な行動に奮い立たせると思うのです。「人類の命と経済のバランス」の問題です。地球は生きていますから、何年もの長い時をかけて人類にとって持続可能な未来へと移っていくと考えています。その間危険で厳しい環境で生き残っていかなければなりません。これは空想の世界でしょうか？私はその未来を見ることが出来ないかもしれません。でも、どんな未来が待っていても、若者には強くなってほしいと心から願います。気候問題は手を取り合わなければ乗り越えられない地球規模の問題ですから。地震災害もそうですが、気候災害も考えたくない課題なのは当然ですが、忘れてはならない問題だと思えます。又、熱い思いを語ってしまいました。最後までお聞きいた

だいたことに感謝を申し上げます。本日はいつもよりちょっと贅沢なお食事と更に外山幹事からプレゼントを用意しております。どうぞ最後までお楽しみ下さい。

アフガニスタン退避者への生活支援寄附金贈呈

◎松岡真理恵様（国際交流協会 事務局次長）

皆様、アフガニスタン退避者への生活支援寄附金にご協力をお願いします。



幹事報告 外山武志幹事

◎例会変更のお知らせはありません

◎配布物 ・週報2147号

スマイルレポート 河島将矩君

◎中村俊幸君

本日の卓話はオイスカ浜松国際高等学校 鬼石校長先生のお話です。皆さんよろしくお願ひします。



◎山地峰春会長 外山武志幹事

先日の親栄会遠征初日に会長幹事で優勝準優勝致しました。賞金はすべて夜の宴会に倍にして奉仕させていただきました。嬉し、かなしい一日でした。

◎早川和幸君

入会予定の八木榮次さんをゲストでお迎えしました。

本日のプログラム

担当 中村俊幸 青少年奉仕委員長

◎皆さんこんにちは。青少年奉仕委員の中村です。

本日の卓話はオイスカ浜松国際高等学校 校長の鬼石貞治様をお迎えしました。本年度は浜松西ロータリークラブをホストクラブとしてオイスカ浜松国際高等学校にインターアクトクラブを発足を、私たちと様々な奉仕活動を行ってまいりました。校長先生には発足から奉仕活動など、ご理解ご協力をいただいております。本日は学校の紹介やインターアクトクラブについてのお話をいただきたいと存じます。鬼石校長先生よろしくお願ひ致します。



発表者 鬼石貞治様（オイスカ浜松国際高等学校 校長）

タイトル 「オイスカ浜松国際高等学校とインターアクトクラブの紹介」

◎本日は、お招きをいただき誠にありがとうございます。お時間をいただきまして、2点お話をさせていただきます。一つは本校の概要について。もう一つは昨年度スタートしたインターアクトクラブについてです。



●学校法人中野学園として二校を運営。「オイスカ浜松国際高等学校」と「オイスカ開発教育専門学校」創業者中野與之助＝オイスカの創設者。1968年法人設立認可。中野学園天文学専門学校。1983年オイスカ高等学校開校。普通科180名、1986年オイスカ開発教育専門学校国際子協力科。

●オイスカ国際NGO

- ＝非政府組織（民間の援助団体）中野與之助創立。
- ・1961年 オイスカインターナショナル
- ・公益財団法人オイスカ（東京都杉並区）アジア・太平洋諸国での農村開発（農業指導）や環境保全活動を展開。

●オイスカ高等学校→オイスカ浜松国際高等学校へ（令和4年度より）

●オイスカSDGs教育3つの宣言！

①環境教育宣言②ミニ・ワールド宣言③地域協働宣言→校名に浜松。地域の皆様から学ぶ。授業では開始。部活動で地域協働を実現したい！令和4年度より本校のインターアクトクラブ発足。部活動としてスタート。

●インターアクトクラブ

令和4年度 部活動紹介 10名加入

浜松西RCより鐘を授与していただき活動の開始と終わりに使用。文化祭にてインターアクトの発祥や歴史を掲示、ペットボトルキャップの回収。

（※紙面の都合上一部のみの掲載とさせていただきます。）

◆本日の例会メニュー

- 前菜 まだか柚子胡椒焼き
- 太刀魚翡翠鳴門東寺揚げ
- お造り 鰹 生しらす 真鯛
- 天麩羅盛り合わせ
- 海老 蟹 茄子 アスパラ
- 鉢物 冬瓜海老そぼろ餡かけ 青味 麩
- お食事 うなぎとしらすの炊き込みご飯
- 赤出し 香の物
- 水菓子 掛川深蒸し茶寄せ 姫まくら



◎6月10日にバレー大会国際法事事業を実施しました。

8月度プログラム予定内容

委員長 坂本 修一 副委員長 中村俊幸

月	日	曜日	例会数	担当委員会	担当者	卓話者	内 容	備 考
8	★会員増強・新クラブ結成推進月間							
	4	金	2154	会員増強	早川和幸		未定	ホテルコンコルド浜松
	11	金		祝日休会(山の日)				
	18	金		特別休会				
	25	金	2155	青少年奉仕	中村俊幸		インターアクトクラブ活動報告	ホテルコンコルド浜松
※地区ロータリー財団セミナー(8月5日) ※インターアクトクラブ年次大会(8月5日)								